

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第2号 R元.6.18

茨城県教育研修センター

教科教育課

☎0296-78-3213 (直通)



若手教員〔初任者〕研修講座（中学校，教科）第3日を実施しました。

令和元年5月14日，若手教員〔初任者〕研修講座（中学校，教科）第3日を実施しました。午前は，国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官・文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の山田誠志先生を講師として，講義「教育課程の基準としての学習指導要領」を行いました。また午後の講義・研究協議「教科学習指導の進め方」では，10分科会に分かれ，各教科における学習指導の進め方について協議しました。その中で，今後の学習指導に対する意見・考えが多く出され，学習指導上の課題を共有することができました。

- ・振り返りの際「相手の意見を受けてどう思ったか」を聞くという発想がなかったので，今後の授業で取り入れたいです。（国語）
- ・教科において生きる力の育成や，数学的活動の重要性を確認することができました。（数学）
- ・理科的な見方・考え方とはどういうことなのか，生徒に対して，どのような発問をすればよいのかということを考えることができました。（理科）
- ・ガスなどの安全管理やアレルギー等，調理実習を行う際の注意点について，細かいところまで確認していきたいと思いました。（家庭）
- ・運動が苦手な生徒も，運動の楽しさを感じることができると手立てを考えることも重要であることが分かりました。（保健体育） <受講者の感想より>

国立教育政策研究所 教育課程調査官 山田誠志先生による講義の様子



- ・学習指導要領について，何を学ぶか，どのように学ぶか，そして何ができるようになるかという視点の大切さを再実感し，生徒主体の授業づくりをこれからも心がけていきたいと思いました。
- ・これからの社会に求められる姿，そのための学校教育がすべきことについて考えることができました。 <受講者の感想より>

各教科の講義・研究協議の様子

